

見て見ぬふり！？

2002年11月4日

先月の救命法で、「外国では宗教的なこともあり、倒れている人がいれば助けるのが当たり前だと思っている。」と講師が言っていました。そう云われれば外国で何か災害や事件などがあり犠牲者が出た場合、例えその犠牲者が自分の家族でも知人でもなく、そして、その国の人じゃなくても泣きながら花を供えて祈っている姿を、テレビで何度か見かけた事があります。

日本ではどうでしょう？同じような事が起きたとしても、「家族や知人がいなくて良かった」って、ホッとほするけど、他人の為に涙を流す人はあまりいないような気がします。(可哀相にとは思いうんだらうけど・・・)

自分に関わっていない事は、しよせん他人事なんですよ。ニュースだって、ハイジャック等のテロや、飛行機が落ちて犠牲者が出た時に、日本人がいない時は「日本人はいなかったもよう」とか言ってあまり引っ張らず、日本人がいれば結構引っ張るような気がするのは私だけかい？(日本人ばかりが人間じゃないだろが！！) かとって、外国のようにめっちゃめっちゃ愛国心がある訳でも無い。何やら矛盾してる！！

日本人が、家族や知人がいる訳でもないのに一生懸命になるのは、高校野球とオリンピックくらい？(そうじゃない人ゴメンナサイ！！m(_)_m)

どちらにしても、日本人はなるべく面倒な事には関わりたくないんです。道に人が倒れていても、周りにたくさんの方がいれば、「誰かが助けるだらう」という風にみんな同じ事を考えている。誰かに責任を押し付けるんじゃなくて、自分が一歩前に出て誰かに協力を求めればいいんじゃないの？・・・倒れているのが自分の家族や知人なら、きっと「見て見ぬふり」は出来ないはず。

救命法の講習会があった日、私はベッドに入ってから考えた。それは、もし私の大っ嫌いな人が道に倒れていたらど～するか？って事。それもかなり重症でほっといたら死んじゃうかも知れないって状況で。取り合えず大っ嫌いな人だから、見なかった事にしてその場を素早く立ち去ろうかな？とも考えたんだけど、もし死んじゃったら後味が悪いような気もするし、多分「大丈夫？」なんて優しい言葉はかけないだらうけど、救急車を呼んだり協力者を探したりはするんだらうな？という結論を出して、眠っちゃいました。(優しいのか冷たいのか、よく分からん？(^_^;))

自分自身や周りに災難が降りかからないと分からないのかも知れませんが、今は交通事故や殺人事件も決して他人事とはいえない時代です。普段は知らん振りしているくせに、自分に何か災難が降りかかった時だけ、「助けてほしい」な～んて、ちょっと虫が良すぎやしませんか？

叩かれてから痛さを知るのではなくて、叩かれなくても痛さが分かる人間でありたいと考えています。(^^)v

P.S. みなさんは、どんなに嫌いな人でも、ちゃんと助けてあげて下さいね！！

ボランティアの輪・あんだんて 島 道子